

令和5年第8回宝塚市教育委員会の会議（定例会）会議録

- 1 開催日 令和5年5月11日（木）
- 2 場 所 宝塚市役所第二庁舎 会議室B
- 3 開会時間 午後2時00分
- 4 閉会時間 午後3時00分
- 5 出席した委員の氏名
五十嵐 孝教育長、篠部 信一郎委員、木野 達夫委員、松浦 一枝委員及び
石井 克馬委員
- 6 除斥した委員の氏名
- 7 委員及び傍聴人を除く、議場に出席した者

管理部長	高田 輝夫	教育企画課長	岡本 進
学校教育部長	坂本 三好	職員課長	奥田 利富美
社会教育部長	番庄 伸雄	学校教育課長	平野 聖幸
		学校教育課副課長	辻 晃英
		教育企画課係長	板垣 慎一郎
		学校教育課係長	小椋 文也
- 8 会議の書記
教育企画課事務職員 中瀬 陽子
- 9 議題
議案第13号 令和5年度教育委員会所管一般会計補正予算（第3号）（案）について意見を申し出ることについて
報告事項 令和4年（2022年）度3月における宝塚市立学校の「いじめ事案」及び
令和3年（2021年）度以前の宝塚市立学校の「いじめ事案」について

会議の概要

開会 午後 2時00分	
五十嵐教育長	令和5年第8回宝塚市教育委員会の会議（定例会）を開催いたします。傍聴希望の方はいらっしゃいますか。
岡本課長	おられません。
五十嵐教育長	それでは、本日の署名委員は篠部委員です。よろしくお願いいたします。 本日の付議案件は、議決事項1件、議決事項以外の案件1件です。それでは、進行について事務局からお願いします。
岡本課長	本日の付議案件は、議決事項1件、議決事項以外の案件1件です。 案件は一覧のとおりです。 なお、報告事項「令和4年（2022年）度3月における宝塚市立学校の「いじめ事案」及び令和3年（2021年）度以前の宝塚市立学校の「いじめ事案」について」は、個人に関する情報が含まれるため、非公開での報告でお願いいたします。 ご審議のほどよろしくお願いいたします。
五十嵐教育長	それでは、議案第13号 令和5年度教育委員会所管一般会計補正予算（第3号）（案）について意見を申し出ることについて担当課より説明をお願いいたします。
岡本課長	議案第13号 令和5年度教育委員会所管一般会計補正予算（第3号）（案）の提出について意見を申し出ることについて、内容を御説明申し上げます。 本件は、令和5年度一般会計補正予算（第3号）（案）のうち、教育委員会関係予算に関しまして、令和5年6月市議会（定例会）に議案を提出するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、市長に次の予算案をもって意見を申し出るものです。 令和5年度教育委員会所管一般会計補正予算（第3号）（案）につきましては、歳入予算に13億3929万4千円を減額し、総額を16億3183万7千円といたします。また、歳出予算に17億4658万8千円を減額し、総額を50億8763万1千円といたします。詳細ですけれど

も、まず2ページ目の第1表「歳入歳出予算補正」の表をご覧ください。こちらは各課の予算の増減を記載しております。続きまして4ページ目から6月補正予算説明資料というのがありますが、そちらをご覧ください。教育企画課につきまして、No.1 学校教育に対する寄附金3万円を受領しましたのでその金額を歳入に計上し、同じ金額を、ご本人様からのお申し出がありましたので中学校運営の子どもたちの為に使ってください、という申し出がありましたので中学校運営の消耗品費に充てる為、歳出予算3万円を計上しています。続きましてNo.2 雑入その他というのがございますけれど、こちらは教育長が近畿都市教育長協議会総会で事例発表を行うことになりまして、その発表にかかる実費として同協議会から3万円のお支払いがありましたので、こちらの金額を歳入に計上するとともに同じ金額を教育企画課の消耗品費として歳出に計上しております。続きましてNo.3 職員課につきましてはスクール・サポート・スタッフ配置に関する県補助金の内示がありましたので、その金額を歳入に計上しております。続きましてNo.4 からNo.8 までの施設課の分と、5ページ目のNo.12 から14 までの学校給食課分につきましては、令和5年度当初予算で工事に関する予算を計上しておりましたが、国から令和4年度分の補助金の内示がありまして、令和4年度3月補正予算で予算を計上したことにより二重計上ということになり、令和5年度当初予算の歳入予算歳出予算をそれぞれ減額しております。続きまして、学校給食課のうち、No.9 からNo.11 までのところですが、こちらは給食費の賄材料費の物価高騰部分について、市の一般財源と学校給食費調整基金で対応する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が活用できることになりましたので、その分を歳入に計上するとともに学校給食費調整基金を取り崩さなくて済みましたので、全額取り崩しをやめよう、というものです。続きましてNo.15 給湯設備整備工事費につきましては、南ひばりガ丘中学校の給食設備でございますが、当初令和5年度に修繕を予定していたものにつきまして、令和4年度末に緊急で修繕を行ったことにより修繕予算が不要となりましたので減額するものです。続きましてNo.16 教育研究課につきましては公立学校情報機器整備費補助金の補助率が上乘せされましたので補

助率の上乗せに伴う差額分を歳入に計上しております。続きましてNo.17スポーツ振興課ですが社会教育に対する寄附金5万円を受領しましたので、その金額を歳入に計上するとともに同額を備品費として歳出に計上しております。説明については以上となります。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

五十嵐教育長 ありがとうございました。補正予算についての説明でした。何かご質問等ありますか。

木野委員 予算説明資料の1番の寄附のところですが、400万円の寄付があったということですか。

岡本課長 400万円については例年宝塚ゴルフ倶楽部から寄附をいただきまして、通常遊具の整備を行っております。今回の補正については、4月に入ってから市民より3万円の寄附がありましたので、その3万円分の補正予算を計上しております。

木野委員 403万円にはならないのですか。

岡本課長 補正前の金額が当初予算400万円ですので、補正額としては追加で計上する3万円のみ記載となります。総額が403万円となります。

木野委員 分かりました。ありがとうございます。

五十嵐教育長 他にご質問ございませんか。

石井委員 2つ質問があります。No.3のスクール・サポート・スタッフ配置事業補助金ですが、県職員総務事業に充当ということで一覧の歳出として記載されないのですか。

岡本課長 歳出の方は当初予算で計上しております。元々は市の予算をそのまま使おうとして歳出予算に計上していたのですが、一部市費を使わずに県補助金が活用できることになりました。事業内容が変わるわけではなく、支出がそれによって増額されるものではないので、歳出としては記載されません。

石井委員 市費でくる歳入がどこか減っているのでしょうか。

岡本課長 市全体としましては、市費で歳出に充てる部分を財政調整基金という貯金を取り崩したり調整しながら記載するのですが、教育委員会の予算としてはその部分は記載しない形になっております。トータルのプラスマイナスの

ところは市全体で調整しているということです。

石井委員 ということは、他の分野でもそういう形で歳入に計上されていない分があるということでしょうか。

岡本課長 教育企画課の予算で言いますと、国の補助金を活用した感染症対策で、今年度は換気対策と呼んでいます、色んなものを買う予算があります。当初、文部科学省から半分、例えば100万円分を買ったから50万円補助しますという制度があります。50万円分については補助金が充てられ、残りの50万円については市費で充てますといった予算を一旦出します。実際は制度として、新型ウイルス感染症対応地方創生臨時交付金というのがあり、国から後で50万円入ってくるという形があります。それを補正予算として後で入ってきましたとするケースがありますので、そういう意味でまだ予算に上がっていないというのがあります。それは制度上そうなっているので、後から予算に計上するしかないということです。

 ただ、国から正式に内示がなければ50万円は予算に計上できないので、一旦は市の予算で建て替えたという形に見せた上で、後から歳入としてはありますよというふう処理をしていくことになります。

五十嵐教育長 ちょっと難しい話ですが、石井委員大丈夫ですか。

石井委員 要はそこまで見ようと思ったら、市の方の予算をみないといけないんですね。

高田部長 基本的には当初予算を組む時には、国や県からの何らかの補助金や交付金が想定できていない場合があるのですが、国が4月になってこんな補助制度やこんなコロナの給付金を使っていいですよとした時に、例えば1億円どうぞ宝塚市使ってください、1億円の新規事業をするのもいいのですが、今の時代なかなか新規事業で使っていくのは財政上厳しいので、本来市財源でやろうと思っていたけど、1億円くれたから一般財源は使わずにこれとこれに5千万円ずつ充てて市財源の1億円は使わないで貯金しておこう、という取り組みがコロナの間は比較的多かったです。

 スクール・サポート・スタッフ配置事業については、こういう補助制度ができて、本来補助制度がないという前提で予算計上していたのですが、補助

制度ができたので歳入だけを計上していくということになりました。

五十嵐教育長 スクール・サポート・スタッフの予算は、取ってなかったんですね。

高田部長 歳出は当初予算で取っています。全額、市財源でやっていこうとしていました。令和4年度と比較すると、1/3縮小しているんですが、なんとか事業を継続していこうということでした。今回県の補助制度が確立されたので、補助金を申請するということになりました。

石井委員 時間を増やすことはしないのですか。

高田部長 増やすという考え方もありますが、今回は増やさずに、市財源の負担を減らそうとするものです。

石井委員 もう1つ、No.9とNo.10です。これも6千万円増えたけども、当初基金取り崩し3200万円を考えてきたけど9100万円入ってきて、予定よりも6千万円増えたけども、特に何かに予算を使うということはないのですか。極端な話、給食が豪華になるとか。

岡本課長 そうではないです。

松浦委員 基金の取り崩しをやめたんですね。

岡本課長 そうです。

高田部長 基金の取り崩しをやめたことと、一般財源で対応していこうとしていたところをやめました。そもそも令和5年度の学校給食は、少しずつ残っていた基金と基金では足りないところは市一般財源をもって給食費の高騰分は賄っていこうとしていたんですが、コロナの関係で使える交付金がありましたので、自腹切ろうとしていたところを交付金を当てがっていこうということです。併せて基金も使わなくて良いのであれば、次年度以降の調整のために置いておこうということです。

石井委員 市費の部分は見えないんですね。

高田部長 はい、変更点しかここに記載しないので。

石井委員 では、9千万円では足りないということはないのですか。

高田部長 9千万円あれば足りるという見込みです。年間で7億8千万円くらいが給食の食材費なんですが、9千万円くらいが物価高騰するので、そこを補填しなくてはならなかったのですが、それを一般財源や基金ではなくコロナの交

付金を使っていくということです。去年と同じです。去年の9月もコロナの交付金を充てたので、引き続きコロナの交付金を充ててゆこうとするものです。給食の場合は当初から、コロナの交付金がもし使えるのならそれを当てがってこうという当初からの計画でしたので、うまくコロナの交付金を使えるようになったので助かりました。

篠部委員 来年はないですか。

高田部長 年々、コロナ感染症も治まっていますので、コロナに関しての交付金というのは厳しくなってくると思います。何か聞いていますか。

岡本課長 正確には聞いていないのですが、うちの課で扱っているもので、もともと感染症対策というのを学校向けにアルコール消毒のスプレーなどを買っていたのですが、その予算が今年度に入ってから換気対策という形で縛られてきまして、そういった意味では令和4年度までと令和5年度で既に扱いが違ってきております。令和6年度については何も話が出ていないので分かりませんが、社会情勢的には無くなる方向ではないかと思えます。

石井委員 今回、給食費が9千万円プラス、1割強アップして、来年度これが下がらなければどうしますか。

高田部長 来年度に向けての給食費の改定は今年度の早い段階で検討するべきですね。

石井委員 1割強アップですよ。

高田部長 はい、今が200円台ですが、25円や30円ほどですので1割強アップという事です。

松浦委員 それで今、給食の質というのは全く下がってないということですか。

高田部長 なんとか維持はしております。ただ、給食の質というのは、牛乳を止めてお茶にしてくださいという人までの願いまで叶えようとするとそれでは足りないのですが、今こちらが考える給食の中身の維持はされています。

五十嵐教育長 他にご質問ございませんか。

一定の寄附金や交付金を活用して、色々運用しますよ、といことですね。

他にご意見ございませんか。

石井委員 歳入が13億円で、歳出が17億円減ったということですが、歳出が減った分、他で使うということはないのでしょうか。

- 高田部長 事業として、何か提案できるようなことがあれば、予算要求も可能でしょうけど、なかなか今の段階で新規で事業を展開するとか、既存の事業を拡充していくということは、今の段階では見込みが付かないです。大体、事業の見込みが付くのが9月頃になりますので、早くて9月議会、あるいは12月議会ぐらいで額を調整するために増額したり、あるいは減額したりすることはあります。一般的に6月議会で新規事業というのは出しにくいです。基本的には新規事業は当初予算で提出します。年度途中で必要が生じたら新規事業というのは提案しやすいですが、今回は減額の予算措置となります。
- 石井委員 例えば減額した予算を新規拡充する事業に充てるため準備する、みたいなことはできないのですか。
- 高田部長 それはまた次の予算要求に向けて準備していくこととなります。ただ、予算が付くかどうかは分かりませんが。
- 石井委員 今回、浮いた3億円がありますから、次の9月に向けて提案するにはいつまでに準備することになりますか。
- 高田部長 7月くらいには結論が出ていないといけませんね。
- 石井委員 あまり時間がないですね。
- 高田部長 はい、原案で12月くらいの議会で提案ですね。12月議会でも9月くらいには結論が出ていないといけませんね。
- 石井委員 実際、例年どうなのでしょう。3億円減りました、その分を追加で事業に充てるということはこれまであったのでしょうか。
- 高田部長 6月の段階ではあまりありません。
- 石井委員 年度内ではありませんか。
- 高田部長 年度内ではあります。12月議会ぐらいでは、年度途中で必要なことが発生して、年度内は今ある現計予算を先行して執行し、12月議会で補填するとか、あるいは12月くらいからスタートするとか、そういうことは年度途中にはあります。
- 石井委員 9月、10月くらいに何か提案があれば補正予算は可能ですか。
- 高田部長 何か提案があれば、年度内の補正予算は可能です。
- 五十嵐教育長 ほぼ施設のものでですね。先取りしていたものがなくなった、というの

は。

高田部長 はい、施設課は当初予算でやろうとしていたけれど、12月くらいに国の方で令和4年度の国の補正予算で補助金が交付されることが決定すると、3月補正で対応しますので令和4年度中の工事予算に計上します。ですが、3月から事業は行えないので令和5年度に繰り越すということになります。令和4年度予算を令和5年度に繰り越すということです。令和5年度の当初予算に計上していたものについては、二重計上になりますのでその分を減額補正するというようになります。その額も6月議会で処理しますので、非常に目立つ大きな額にはなりません。

石井委員 補正後は歳出がトータル50億円ですか。

岡本課長 基本的には毎年市の一般会計予算歳出に占める教育費割合は10%前後となるのですが、施設の改修工事が1件あると億単位で数字がずれてくるのでそのせいで率が変わってくるのですが、それ以外の事で申し上げますとそれほど変わらないです。

五十嵐教育長 はい、では他にはご意見はございませんか。

それでは、議案第13号 令和5年度教育委員会所管一般会計補正予算（第3号）（案）について意見を申し出ることについては、ご承認いただけるということによろしいでしょうか。

委員 (なし)

五十嵐教育長 ありがとうございます。

続きまして、先ほど事務局からありましたように、次の報告は非公開といたします。

報告事項 令和4年（2022年）度3月における宝塚市立学校の「いじめ事案」及び令和3年（2021年）度以前の宝塚市立学校の「いじめ事案」について担当課より説明をお願いいたします。

【非公開での案件の審議あり】

五十嵐教育長 本日の予定の案件は以上ですが、何か他にご報告いただくようなことは

ありますか。

岡本課長

ございません。

五十嵐教育長

それでは本日の教育委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 午後 3時00分
